

出前授業 実施報告

日 時：平成 24 年 9 月 5 日(水)14:15～15:30

出 前 先：大阪府北河内府民センター（大阪府枚方土木事務所）

受 講 者：大阪府職員（約 120 名）

講 師：早川清先生（立命館大学名誉教授）

授業題目：「地震発生のメカニズムと防災対策」

今回は、海溝型地震を対象として行われた地震防災訓練である「大阪 880 万訓練」の一環として行われた防災講演に協力する形で出前授業を実施しました。受講者は、訓練のため枚方土木事務所に参集された約 120 名の大阪府の職員の方々です。講師は、立命館大学名誉教授の早川清先生にお願いしました。

大阪府の司会の方に早川先生のご略歴を紹介していただいた後、先生の講演が始まりました。先生の講演は大きく 2 つのテーマから構成されていました。前半では地震の発生メカニズムといった地震に関する基礎的な知識、後半では地震防災対策がテーマとなっていました。

講演の前半では、地震に関する基礎的な知識として、海溝型地震と内陸の活断層に起因する直下型地震、地震波としての P 波と S 波の違い、地震の本震と余震、津波、液状化、長周期地震動等々、普段からよく使われていながら真の意味があまりよく分かっていない専門的な用語について、先生はトピック毎の Q & A 形式で分かり易く説明されました。

講演の後半では、先生は、まず、東北太平洋沖地震とそれによる被害について、それらの概要を説明されました。次に、東海・東南海・南海地震のいわゆる三連動地震が起こったときの被害想定をお話しされました。先生は、想定では M9.0 相当の地震が発生することになり、それによる人的被害は最悪の場合、32 万 3 千人余りになることを紹介されました。この地震による津波とそれによる被害、帰宅困難者の対策、近隣自治体の応援態勢などについてもお話しされました。さらに、広域での被害状況の把握や情報伝達、都市基盤の耐震性の強化の重要性について言及されました。また、個人レベルの対応として、自助、共助、公助の順番で重要であることを指摘されました。最後に、先生は、正しい防災知識に基づき、自らが判断し行動することの重要性を指摘され、講演を締めくくられました。

文責：小田和広（大阪大学）

